

「認知症」ってなんでしょう。以前に比べて脳の機能が落ちて、日常生活を送ることが難しくなる状態が認知症です。特定の病気の名前ではありません。

もの忘れは目立つ症状です。財布を置いた場所がわからない、同じものを何度も買ってきってしまうといったことが起こります。予定をこなしたり判断したりする機能なども落ち、おくすりを自分で管理して飲むことができなくなることもあります。何事も以前より段取りが悪くなることもあります。意欲がなくなることが初期の症状であったりもします。

早いうちに対応していくことで、なじみのある地域で過ごす時間を確保し、脳の機能低下の進行を抑制したいと考えています。そのため、ちょっと忘れっぽいかな、という早い段階で受診を考えていただけたらいいでしょう。

また、認知症予防には運動や食事など生活習慣が大事になります。こうしたことにもアドバイス出来るような体制を整えていきます。

皆で予防に励み、早めに発見して治療を開始できるような地域づくりを目指します。

認知症疾患医療センター長 木原 武士

## お問い合わせ・ご相談は

078-579-1966

## 鑑別診断は

まずは、かかりつけ医にご相談ください



### 交通案内

神戸市営地下鉄「長田駅」（長田神社前）より徒歩約8分

神戸高速鉄道「高速長田駅」より徒歩約8分

JR「兵庫駅」、神戸高速鉄道「大開駅」より徒歩約10分

市バス4系統、6系統、9系統、13系統、96系統「西市民病院前」すぐ

<車で>・阪神高速「柳原インター」より約5分

### 神戸市立医療センター西市民病院

### 認知症疾患医療センター

〒653-0013

神戸市長田区一番町2丁目4番地

URL▶ <http://nishi.kcho.jp/>

## 西市民病院 認知症疾患医療センター ご案内



神戸市立医療センター  
西市民病院

## 認知症疾患医療センターとは

神戸市より指定を受け、認知症の診断・治療、医療・生活・介護の相談、地域の関係機関との連携や研修をおこなう専門医療機関です。

### 診断と初期対応

日常生活の様子や、生活上の困りごと、身体状態の聞き取りなど各種の検査（神経学的検査・神経心理検査・画像検査・心電図検査・血液検査など）を行います。

その結果をもとに、専門医師が評価・診断をおこないます。その診断に基づき、治療・生活・介護についてご本人やご家族と一緒に考えます。紹介して頂いた、かかりつけ医の先生や必要に応じてケアマネジャーの方と情報を交換します。

### 専門医療相談（電話・面談）

専門の職員（看護師・精神保健福祉士・心理士など）が認知症に関係する相談を受けます。

- ちょっと忘れっぽい、何度も同じことをいう
- 約束を忘れる、道に迷う、しまい忘れがある
- 元気がでない、怒りっぽくなり性格が変わった
- 介護の相談をする場所が知りたい・どこにどんな相談をして良いかわからない
- 受診したいが方法がわからない

相談は無料です。

面談での相談を希望される場合は電話で予約が必要です。

### 認知症早期発見のメリット

#### ★将来に備えることができます

初期の認知症であれば、治療や介護サービスを選び、これからの生活について願っている人をご自身で決める等、今後の人生の準備ができます。

#### ★病気の原因によっては、治療が可能です

正常圧水頭症、慢性硬膜下血種などが原因であれば、認知機能も改善する可能性があります。

#### ★症状の進行対策が考えられます

服薬・生活習慣の改善・適切なケアなどで、認知機能を長く保つ方法もあります。

### 受診までの流れ

本人・家族がかかりつけの医療機関へ相談  
※かかりつけ医の診療科目は問いません。

かかりつけ医療機関からの予約  
※かかりつけの医療機関から FAX で診療情報提供書を送信ください。  
FAX 番号 078-579-1943

センターがかかりつけの医療機関へ予約票を FAX します。  
※かかりつけの医療機関から予約票を受け取ってください。

受診日には、①紹介状の原本、②お薬手帳、③予約票を持参ください。  
問診・診察・検査をしますので、時間には余裕をもって来院ください。

※かかりつけ医がない場合は直接センターにご相談ください。

認知症疾患医療センター専用電話

078-579-1966

受付時間：9時～17時（土日祝日、年末年始を除く）